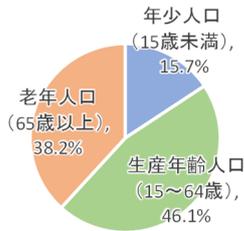


細田 (ほそだ)

人口・世帯数等 (令和5年4月)	
人口	102人
世帯数	33世帯
高齢化率	38.2%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落は、東西に山が迫り、北流する春来川の西側の山裾に沿って細長く伸びる。県道若桜温泉線沿って民家や商店が並び、湯村温泉街の一部を形成する。集落のすぐ東側を国道9号(山陰道)が走り、県道と接続する。

地名由来 田が川岸に沿って細長く続いていた(現在は宅地)ことによるとされる。(「たじま地名考」日本海新聞)

歴史等 言い伝えによると、以前は、現在の湯村と歌長の境界から出合橋までを細田と言っていたとされる。

近世の細田村は、天正11年(1853)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年(1601)同国若桜藩領、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)からは豊岡藩領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は54石余。

明治22年(1889)温泉村の大字となり、昭和2年(1927)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数23、人口は男58・女53。

これまで把握している文化財

文化財の件数 21件 (うち指定等文化財 0件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等		
有形文化財	建造物	建築物	0	10	0	
		石造物	1		0	
		工作物・その他の構造物	0		0	
	美術工芸品	彫刻	6		0	
		絵画	0		0	
		工芸品	3		0	
		書跡・典籍	0		0	
		古文書・歴史資料・考古資料	0		0	
		音楽	0		0	
無形文化財	演劇	0	0	0		
	工芸技術	0		0		
	その他の無形文化財	0		0		
	信仰の場	2		0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	祭具	2	7	0	
		民具	0		0	
		その他の有形の民俗文化財	0		0	
		年中行事・民俗芸能	3		0	
	無形の民俗文化財	民俗技術	0		0	
		食文化	0		0	
		民間説話・俗信	0		0	
記念物	遺跡	その他の無形の民俗文化財	0	4	0	
		散布地・集落跡・生産遺跡	0		0	
		古墳・その他の墓	2		0	
		城館跡・寺社跡	1		0	
		街道・古道等	1		0	
		戦争遺跡	0		0	
		その他の遺跡	0		0	
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0		0	
		海岸・海浜・島嶼	0		0	
		河川・滝・渓谷・湖沼	0		0	
		公園・庭園	0		0	
	動物・植物・地質鉱物	動物	0		0	0
		植物	0			0
		地質鉱物	0			0
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地		0	0		
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等		0	0		



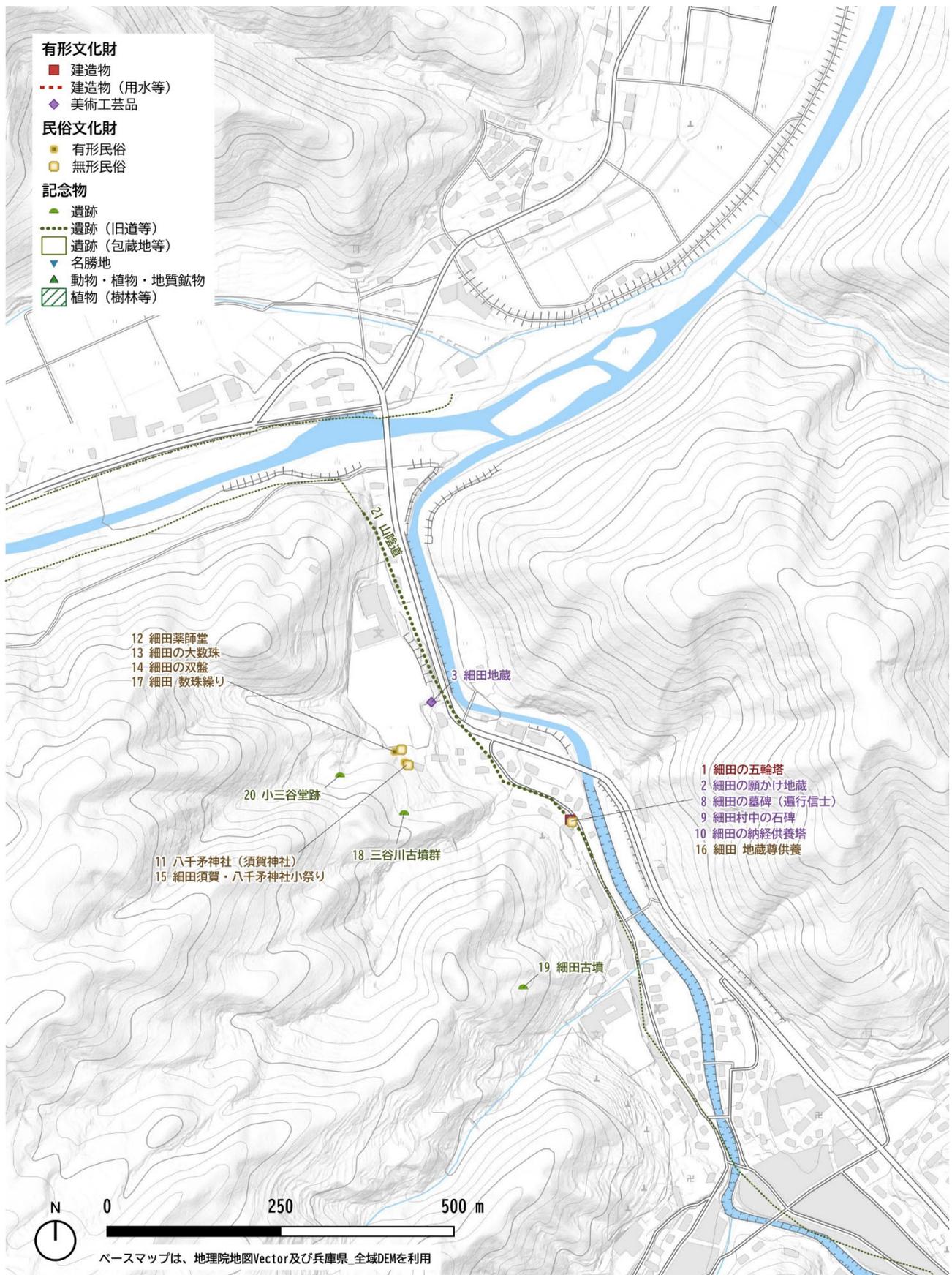
八千矛神社(須賀神社)



細田の五輪塔等

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

4-06 細田

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
石造物	1	細田の五輪塔	道路改修とともに、各所のものを県道沿いに集めたもの。昭和23年(1948)に温泉中学校敷地から移転した五輪塔3基。大きさは、左から45×20cm、82×30cm、30×10cm。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	2	細田の願かけ地蔵	道路改修とともに、各所のものを県道沿いに集めたもの。150×27cmの石像。
	3	細田地蔵	夢ヶ丘中学校南側に位置する。嘉永2年(1849)、福田源左衛門の銘あり。
	4	細田薬師堂の不動明王	105×32cmの木像(不動明王像)。薬師堂の中の4体のうち、一番右側に立つ。昭和54年(1979)11月4日に修復している。
	5	細田薬師堂の薬師如来	135×29cmの木像(薬師如来像)。薬師堂の中の4体のうち、左側から3番目のもの。
	6	細田薬師堂の毘沙門天	100×31cmの毘沙門天像。薬師堂の中の4体のうち、左側から2番目のもの。
	7	細田薬師堂の阿弥陀如来	103×22cmの阿弥陀如来像。薬師堂の中の4体のうち、一番左側のもの。
	工芸品	8	細田の墓碑(遍行信士)
9		細田村中の石碑	道路改修とともに、各所のものを県道沿いに集めたもの。一番左側に立つ石碑。
10		細田の納経供養塔	道路改修とともに、各所のものを県道沿いに集めたもの。125×52cmの石碑。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	11	八千矛神社(須賀神社)	祭神は八十矛神と須佐之男命と思われる。
	12	細田薬師堂	概要不明
祭具	13	細田の大数珠	数珠繰りに使う大数珠。明和4年(1767)のもの。
	14	細田の双盤	数珠繰りに使う双盤。慶安5年(1652)のもの。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・民俗芸能	15	細田須賀・八千矛神社小祭り	10月第3日曜に神社・公民館で神事が行われる。湯八幡神社例祭(9月15日)を大祭りとし、細田の神社例祭を小祭りとしている。
	16	細田 地蔵尊供養	8月23日に公民館前の願かけ地蔵に念仏をあげる。
	17	細田 数珠繰り	子供会主体行事で、大人が念仏を唱えた後、数珠繰り(108回まわす)を行い、無病息災を願う。毎年3月春分の日に行う。

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
古墳・ その他の墓	18	三谷川古墳群	古墳時代の古墳。三谷川左岸尾根上に方形台状墓2基と小円墳2基の計4基が並んでいる。
	19	細田古墳	古墳時代後期の古墳。直径14m余りの円墳で、横穴式石室をもっていたが、宅地造成で完全に破壊された。
城館跡・ 寺社跡	20	小三谷堂跡	中世の寺社跡。五輪塔の残欠20点余り、古瓦多数が散乱している。
街道・古道等	21	山陰道	古代山陰道のルートは、村岡から春來峠を越えて伊角・熊谷を通って井土に出て、その後、岸田川沿いを西へ向かい、蒲生峠を越えて因幡国に入るルートが有力と考えられており、ほぼ現在の国道9号に該当する。律令時代の官衙遺跡は井土に集中し、中でも古代山陰道の「面治駅」は竹田の面沼神社付近とされる。